

インスリン カートリッジ製剤のススメ



こんにちは。たかベクリニックです。みなさんは、インスリンに詰め替えタイプの製剤があることをご存知でしょうか？ 今回、是非ご紹介したいのが、詰め替えタイプのインスリン カートリッジ製剤です。

●持効型溶解インスリン製剤「トリーバ」の場合



プレフィルド製剤

1本 3ml(300単位含有) 2,502 円

724 円差

カートリッジ製剤

3ml(300単位含有) 1,778 円

こちらのペンの中にカートリッジ製剤を入れて使用します⇒



●超速効型インスリン「ヒューマログ」の場合



プレフィルド製剤

1本 3ml(300 単位含有) 1,470 円

240 円差

カートリッジ製剤

3ml(300 単位含有) 1,230 円

ヒューマログカートリッジ製剤に対応するのはこちらのペンです⇒



※専用のペンに詰め替えて使用しますが、インスリンの量や質、注射の打ち方はまったく変わりません。

カートリッジ製剤に変えるとこんなメリットがあります！

★インスリン代が安くなる

(例)トリーバを1か月で2本使用(保険負担3割)の場合、カートリッジ製剤に変更した初月はペン代(3割負担 900円)が発生するため 465 円高くなりますが、2 か月目からはずっと 435 円インスリン代が安くなります。

インスリンをたくさん打っている方ほど、お薬代は安くなります!!

★0.5 単位ずつ打つことができる

1 型糖尿病の方は、治療上の理由から 0.5 単位刻みで注射をすることをおすすめしている場合があります。

ヒューマログやノボラピッドのような、超速効型インスリン製剤は注射回数が多いため、カートリッジ製剤を使用する方が経済的にもおすすめです。

ノボラピッドのカートリッジ製剤の対応した『ノボペンエコー』というペンは、「最後に何単位を打ったのか、注射してからどれくらい時間が経過したのか」を記録するメモリー機能がついています。少しでも気になった方はどうぞお気軽にお尋ねください。



ノボペンエコー(ブルー・レッド)